

# なかつか 亮



補助28号線道路建設(大井本通り商店街・池上通り)

## 「店先削られ、商店街の存続に不安」

5月24日 東京都が計画概要を説明



昭和21年に発足した大井本通り商店街。大井三ツ又交差点から鹿嶋神社までの池上通り及びその周辺です。

東京都は3本目となる特定整備路線に指定した補助28号線について5月24日、大井第二区民集会所で意見交換会を開催し、地元商店街・町会など関係者30名が参加しました。大井本通り商店街の店先を削る道路建設について、後日、商店主らを伺うと「商店街がどうなるのか」と不安の声があがっています。

### 2020年完成

都が指定した特定整備路線とは2020年までに道路建設の完成をめざす路線で品川区内は3路線。これまでに補助29号線、放射2号線で住民説明会が開かれ、いよいよ補助28号線も動き出しました。

28号線の区間とは大井三ツ又交差点から大井第一小学校前交差点まで520メートル。現状の池上通りを3.5m程拡幅。多くの場合、商店の店先が削られてしまいます。(路線図は区ホームページで概要の確認可能)

### 商店主にインタビュー

いくつかの商店主に話を伺いました。「行政は商店街支援と言いながら、商店街を削ってどうするのか。戦後決まった計画を今頃になって蒸し返してどうする。時代が違う。防災対策というのが本当か」「店先が削られ、残った敷地では商売にならない。営業は補償されるのか。店は改装したばかりで気がでない」「これが増えに商売をたたむ人う。商店街の存続に関わる問題です」裏

反対する気はなかったが

防災にならないと聞くと話は別だ

再開発も視野に

意見交換会では商店の営業継続、日程、立ち退きの強制力等の質問が寄せられました。

また品川区からは「商店街と皆さんと一緒に、周辺のまちづくりや再開発を考えた」との話でもしました。

一本橋商店街では

道路拡幅と高層マンションの再開発がセツトで進められた一本橋商店街。区は「街が綺麗になった。にぎわいが増した」と説明しますが、昔からこの商店街で買い物をしていた高齢者は「一本橋商店街のよさが跡形も無い。時代の流れというより、さみしさが残る。顔と顔が繋がる商店街がやつ

ぱり良い」と話します。

ここでも防災強調

この28号線道路及び沿道開発についても、都や区は防災対策を強調。商店からは「防災と言われると協力するしかない」と話します。

ところが防災に役立つとの根拠が無いことやシュミレーションの“ごまかし”を話すと「反対する気はなかったが防災にならないと聞くと話は別だ。商売の継続はあきらめていたが、この計画に商店街を犠牲にするだけの理由があるのか疑問です」と話します。

どこでも乱暴な道路建設。白紙に戻し防災まちづくりは住民参加と合意で進めましょう。

## 武蔵小山140階級マンション これが防災対策??? 超高層マンション2棟目 2日間の建設説明会に200名



5月31日と6月1日に開催された2棟目の武蔵小山駅前再開発。建設説明会に2日間で200名の住民が参加しました。主催者は「防災、にぎわい、環境に配慮したまちづくり」「災害に強く、人命最優先の街だと思えます」と事業を説明しました。

防災対策はとても必要ですが、それがなぜ140階級マンションなのか？超高層ビルは風害による環境変化、震災時の長周期地震動、ライフライン遮断で新たな危険も指摘されています。巨大道路も再開発も防災と言いますが、実は逆効果です。防災と言うのなら木造住宅耐震化、初期消火強化等の支援こそ急務。さらに認可保育園や特養ホームなどくらし応援こそ急務です。



説明会の様子  
荏原第一区民集会所にて

武蔵小山駅前通り再開発事業 平成30年度完成予定 41階／建物高さ145m／住宅410戸／0.7ha

東京都議会議員選挙が6月14日（金）告示、6月23日（日）投票で行われる関係で、しばらくの間、「なかつか亮ニュース」はお休みさせていただきます。なお、急な生活相談などはいつでも、お気軽にご連絡ください。どうぞ、よろしくお願いします。